

宗教意識調査

「後継者問題に関して」

アンケート調査報告書

第6回北陸教研会議事務局
新潟県西部宗務所

❖ 集計にあたって

この度第6回北陸教化研究会議開催を前に、教区の寺院、教会、結社の住職、担任を対象に、「後継者問題」に関してアンケート調査を実施したところ全体の65%にあたる219の寺院、教会、結社より回答をいただいた(63年度版寺院名簿による総数338)。

アンケートの集計は、次に示すように管区別、世代別と2通りに集計し、管区別集計においては%で比率を示し、記述にあたっては少数点以下は切り上げ切り捨てによって省略した。

また参考として寺院等級別に見た住職の世代内訳、後住登録者数、子供に継ぐ意思無しと答えた内訳数を最後に掲げた。

今回のアンケートの集計から当北陸教区の後継者問題に関する現況が把握せられ、今後の問題解決のための指針となれば幸いである。

❖ 集計結果をみて

1. アンケートの回収率は、富山の27カ寺(79%)、新潟東の39カ寺(76%)の順に全体では219カ寺(65%)であった。
2. 住職を専従か兼職かの問いには、17%の37人が兼職と答えており、中でも新潟西では46人中14人(30%)と高い比率を示している。
3. 後継者が「決まっている」と答えた寺院は104カ寺(47%)、「決まっていない」と答えた寺院は113カ寺(52%)となっている。「決まっている」寺院を管区別にみると石川2(66%)、新潟東(64%)、新潟西(52%)が高く、「決まっていない」寺院では福井中・北(70%)、福井南(66%)となっている。
4. 決まっている後継者の内訳は、子供(85%)、弟子(10%)、娘婿(4%)の順であり、そのうちの64人(62%)が教師資格を取得し、13人(13%)が住職後任者登録をしている。
5. 後継者が「決まっていない」と答えた理由の1番目は「子供がいない」で37人(33%)、管区別では新潟西の10人を1位に富山、福井中の順である。理由の2番目は、「子供が小さいため意思確認できない」で34人(30%)であるが、「継ぐ意思無し」と答えた23人(20%)の内19人は26~30等級の寺院の子供であるところに注視しなければならない。
6. 後継者難の主たる理由の答え(複数回答)の1番目は生活苦115人(31%)、次に子弟教育の不徹底104人(28%)、合併合寺の難しさ、宗門の取り組み不足の順となっており、中でも管区別では新潟西の32人(70%)、世代別では40代の30人(62%)が生活苦をあげているのが目立つ。
僧侶に魅力を持たせる子弟教育、合併合寺の難しさを含め、宗門としての「後継者問題」に対する積極的な取り組みを望んでいるように思われる。
7. 今求めていることはの問いに対して、「弟子を探している」との答えを含め「後継者をさがしている」は40人(求めている人の内の51%)、「嫁、または婿

を探している」は33人（42%）であり、後継者においては福井中、嫁探しにおいては新潟西で数値が高くなっている。

全体を通して言えることは、北陸という地域的特性からの経済的理由と、人口比率の少ない地域に小規模寺院が多すぎることが相俟って、後継者難という状況を呈しているのではないか。

昭和59年の宗勢調査における寺院後継者がいないとの答え（292人中105人、36%）に比べ今回の調査では（219人中113人、52%）、その比率はむしろ高くなっており、後継者問題は深刻であると言えよう。

特に60、70、80代の102人中40人（40%）が後継者が決まっていないという状況を注目しなければならず、70代41人中10人は子供に継ぐ意思が無いと答えており、80代で後継者が決まっていない4人についても全て子供に継ぐ意思無しと答えている。

また社会的にも問題となっている嫁不足は寺院においても同様に今後の大きな問題となるであろう。

こうした観点から、この「後継者問題」はもはや一寺院における問題から宗門の問題として捉えられていかなければならず、今後の宗門の積極的な取り組みを期待すると共に、全国の各管区、教区においてもこのような調査が実施され、その結果をもとに教化センターなどを軸に情報の交換などを通してこの問題に取り組んでいかなければならないであろう。

「後継者問題に関して」のアンケート 管区別集計

新潟東 新潟西 新潟北 富山 石川1 石川2 福井中 福井南 福井北 全体 (219人中)

I) あなたの年齢は

20代	1	3	2		2					8	4%
30代	5	3			3	2	1	3	3	20	9%
40代	7	9	8	6	6	4	2	3	3	48	22%
50代	9	11	2	5	5	1	4	2	2	41	18.5%
60代	4	10	3	6	4	7	10	1	1	46	21%
70代	9	5	3	7	8	3	5		1	41	18.5%
80代	4	5		3	1	1	1			15	7%
計	39	46	18	27	29	18	23	9	10	219	100%

回収率(教区338カ寺中) 76% 74% 64% 79% 64% 53% 58% 53% 36% 65%

II) あなたは住職を

専従	34	32	14	21	25	15	22	6	9	178	81%
兼職	3	14	4	5	4	3	1	3		37	17%
無回答	2			1					1	4	2%

III) 次期住職としての後継者は決まっていますか

決まっている	25	24	8	11	11	12	7	3	3	104	47%
決まっていない	14	20	10	16	18	6	16	6	7	113	52%
無回答			2							2	1%

IV) ①決まっている後継者はどの人ですか

子供	22	23	6	10	10	7	5	2	3	88	84%
子供以外の弟子	1		2		1	3	2	1		10	10%
娘婿	1			1		2				4	4%
その他(妻、孫など)	1	1								2	2%

②後継者は教師資格を取得していますか

いる	15	15	3	9	7	6	6	1	2	64	62%
いない	10	9	5	2	4	6	1	2	1	40	38%

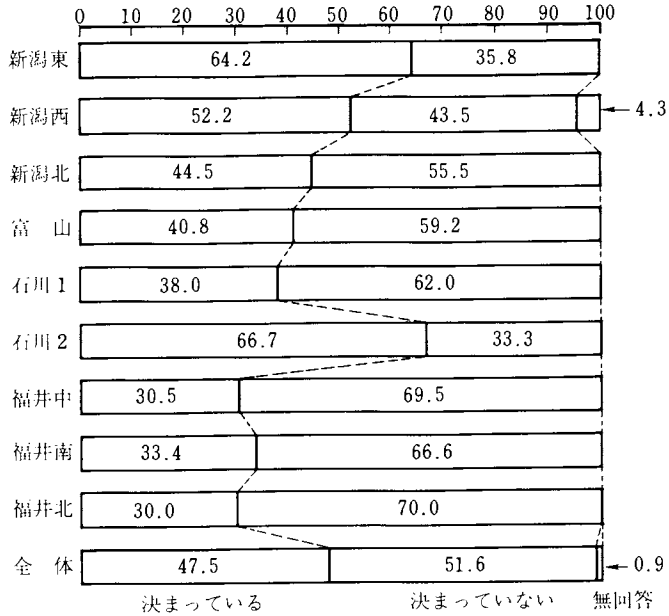
③後継者は後任登録をしていますか

いる	3	4		2	1		3			13	13%
いない	22	20	8	9	10	12	4	3	3	91	87%

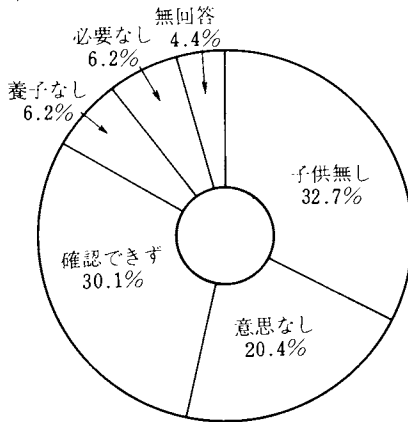
V) 決まっていないその理由は

子供(弟子)がない	2	10	3	7	3	2	7	1	2	37	33%
子供に継ぐ意思なし	3	2	2	3	4	2	6		1	23	20.5%
意思確認できない	7	4	3	4	7		2	4	3	34	30%
娘に養子がない	2	1		1	1	1	1			7	6%

次期住職としての後継者 %



後継者の決まっていない理由 (全体)%



	新潟東	新潟西	新潟北	富山	石川1	石川2	福井中	福井南	福井北	全体	
継いでもらう必要なし		1		1	2	1		1	1	7	6%
無回答(特別号院のため回 答できずを含む)		2	2		1					5	4.5%
VI) 後継者難の主たる理由は (複数回答)											(366回答中)
生活苦	16	32	14	12	8	8	12	7	6	115	31%
子弟教育の不徹底	23	17	5	13	17	8	12	5	4	104	28%
法縁関係	6	9	7	4	2	2	1	2	3	36	10%
合併合寺の難しさ	7	12	4	12	7	7		2	3	54	15%
宗門の取り組み不足	10	11	4	9	2	1	4	2	4	47	13%
その他	1	3		1	2		1	1	1	10	3%
VII) 今求めていることは (219人中)											
後継者(教師)を探している	2	4		4	1	3	10		2	26	12%
弟子を求めている	2	2		2	4		3		1	14	6%
嫁を探している	4	12	2	2	4		1			25	12%
娘に婿を探している	2			1	1	3	1			8	4%
その他	1	1		2	1					5	2%
特になし	28	27	16	16	18	12	8	9	7	141	64%

※

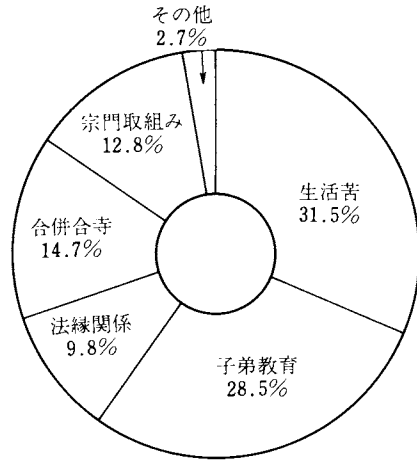
VI) における「その他」の内容

1. 世襲制になっているから
2. 豪雪地で、寺が多すぎる
3. 配偶者が容易に見つからない(農家以上に嫁不足)
4. 親寺の住職の理解が足りぬ
5. 道念はあるが病弱のため信行道場に入れぬ、何とか住職への道はないのか(立正の仏教学部を出ていれば住職にしてもいいのではないか)
6. 子供の数が少なく、個人の意思を尊重する時代である
7. 檀家中心の今の在り方を全て潰して新たな出発を
8. 檀家に寺に対する誠意がない

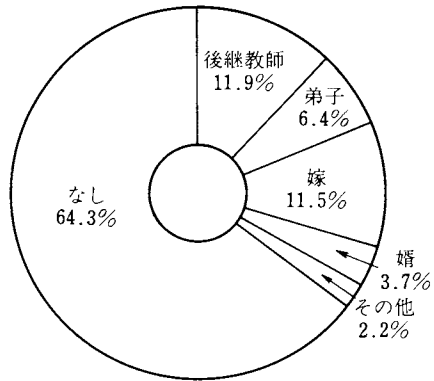
VII) における「その他」の内容

1. 小6の子供を高校から宗門校に入れる方法は
2. 法類に後継さがしを依頼中
3. 息子の様子を見ている
4. あまりにも弱小すぎて後継者が得がたい
5. 病弱なものに対する教師資格取得への道を開いて欲しい

後継者難の主たる理由 %



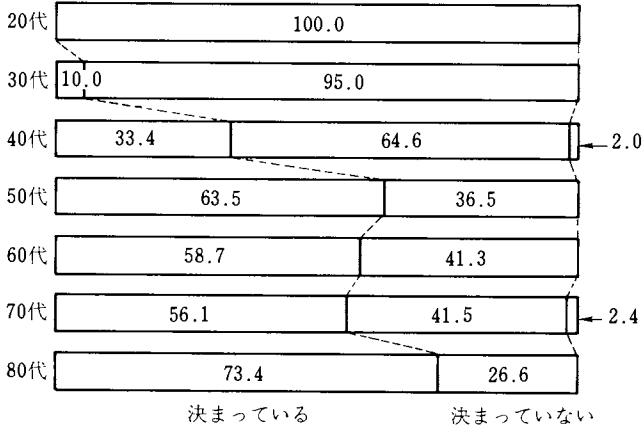
今求めていることは %



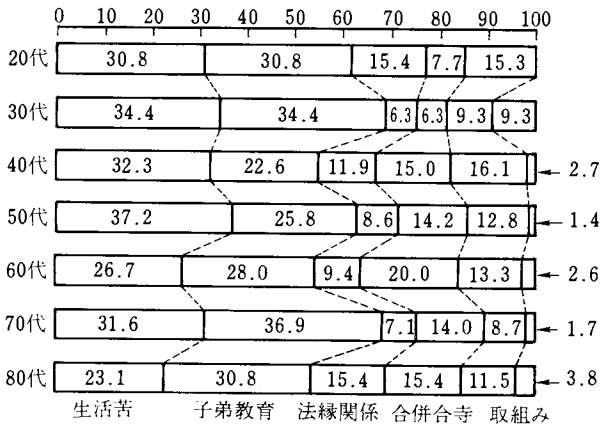
「後継者問題に関して」のアンケート 世代別集計

I) あなたの年齢は		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	全体
		8	20	48	41	46	41	15	219
II) あなたは住職を									
専従		7	16	34	30	39	37	15	178
兼職		1	4	12	11	5	4		37
無回答				2		2			4
III) 次期住職としての後継者は決まっていますか									
決まっている			1	16	26	27	23	11	104
決まっていない		8	19	31	15	19	17	4	113
無回答				1			1		2
IV) ①決まっている後継者はどの人ですか									
子供			1	16	23	19	18	11	88
子供以外の弟子					2	5	3		10
娘婿						3	1		4
その他(妻、孫など)					1		1		2
②後継者は教師資格を取得していますか									
いる				1	12	22	19	10	64
いない			1	15	14	5	4	1	40
③後継者は後住登録をしていますか									
いる					3	4	3	3	13
いない			1	16	23	23	20	8	91
V) 決まっていないその理由は									
子供(弟子)がいない		6	7	7	2	11	4		37
子供に継ぐ意思なし				2	2	5	10	4	23
意思確認できない		2	10	19	2	1			34
娘に養子がいない				2	4		1		7
継いでもらう必要無し			2		4		1		7
無回答(特別立寄のため)				1	1	2	1		5

次期住職としての後継者 世代別 %



後継者難の主たる理由 世代別回答 (複数回答)%



	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	全 体
VI) 後継者難の主たる理由は(複数回答)								
生 活 苦	4	11	30	26	20	18	6	115
子弟教育の不徹底	4	11	21	18	21	21	8	104
法 縁 関 係	2	2	11	6	7	4	4	36
合併合寺の難しさ	1	2	14	10	15	8	4	54
宗門の取り組み不足	2	3	15	9	10	5	3	47
そ の 他		3	2	1	2	1	1	10
VII) 今求めていることは								
後継者(教師)を探している		1	1	1	13	8	2	26
弟子を求めている			3	1	6	4		14
嫁を探している	3	1		11	5	4	1	25
娘に婿を探している			3	2	1	2		8
そ の 他			1	1		3		5
特 に な し	5	17	38	24	22	20	12	141

参考

1) 寺院等級別住職の世代内訳

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	全 体
10～15等級			1		2			3
16～20等級		3	4	3	3	2	2	17
21～25等級	2	5	11	11	12	11	4	56
26～30等級	5	11	30	26	26	25	8	131
等 外	1							1
回 答 無 し		1	2	1	3	3	1	11

1) 寺院等級別後住登録者数

	新潟東	新潟西	新潟北	富 山	石川一	石川二	福井中	福井南	福井北	全 体
10～15等級										
16～20等級				2						2
21～25等級		1			1		2			4
26～30等級	3	2					1			6
不 明		1								1

2) 子供に継ぐ意思無しと答えた等級別内訳

	新潟東	新潟西	新潟北	富 山	石川一	石川二	福井中	福井南	福井北	全 体
10～15等級										
16～20等級										
21～25等級					2		1			3
26～30等級	3	2	1	3	2	2	5		1	19
不 明			1							1

「後継者問題」に関しての アンケートのお願い

第1回の北陸教化研究会議以来検討されてきた「寺院住職の後継者難」という問題は1寺院の問題に留まらず、管区、教区、ひいては宗門の問題として把握されなければなりません。

わが北陸教区においては、昭和58年現宗研において福井県宗務所管内の後継者実態調査が行われていますが、広く教区の全寺院についてこの実態調査のためのアンケートを求めるといことが教研会議の度ごとに要望として出されてきましたが、昨年の第5回大会において次回までにこのアンケート調査を実施する旨の決議がなされました。

この決議に基づき、ここに第6回大会を前に教区寺院教会住職担任各聖に下記のアンケートをお願いする次第であります。

後継者問題についてのアンケート

(□のなかに鉛筆、またはボールペンで✓とするしてください)

※管区名 (宗務所) ※等級 (等)

I) あなたの年齢は

- ① 20代 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代 ⑤ 60代
 ⑥ 70代 ⑦ 80代

II) あなたは住職を

- ① 専従 ② 兼職

III) あなたのお寺では次期住職としての後継者が決まっていますか

- ① 決まっている (IVにすすんでください)
 ② 決まっていない (Vにすすんでください)

有難うございました

※来る11月の第6回教研会議においてアンケート結果を報告の予定ですので、9月20日迄に各管区宗務所へお届け下さい。

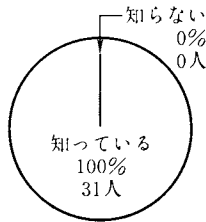
〈東 部 管 内 教 化 調 査 報 告 書〉

調査期間 平成元年 1月23日～2月6日

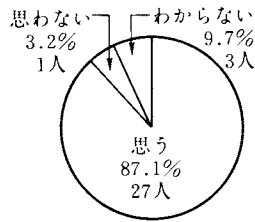
— 教化センターについて —

- ① 東部管区教化センター設置について ② 教化センターが必要だと思うか

回答31



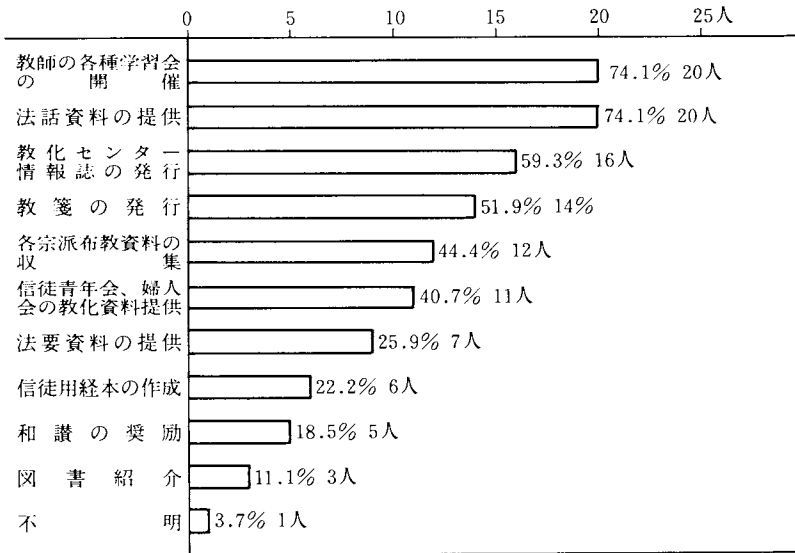
回答31



- ③ 教化センターに何を望むか

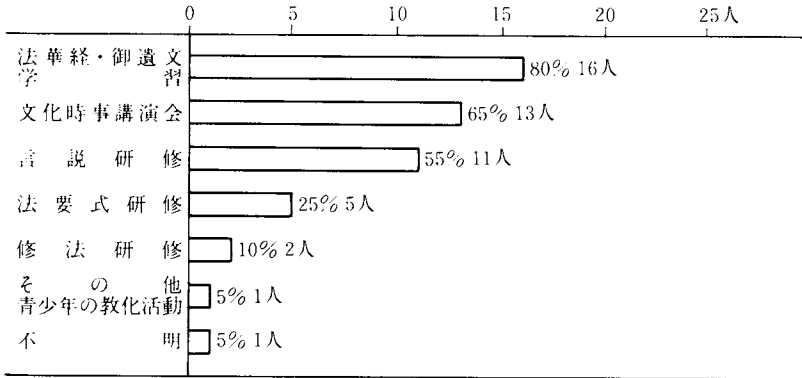
イ、設問②で「思う」と答えた方は教化センターに何をしてもらいたいか

回答27(複数回答)



ロ、イで「教師の各種学習会の開催」を選んだ方は何を希望するか

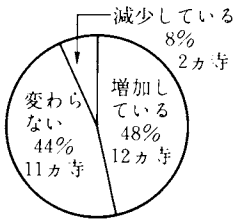
回答20(複数回答)



—寺院経営について—

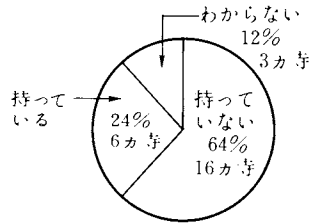
④檀信徒の増減について

回答25



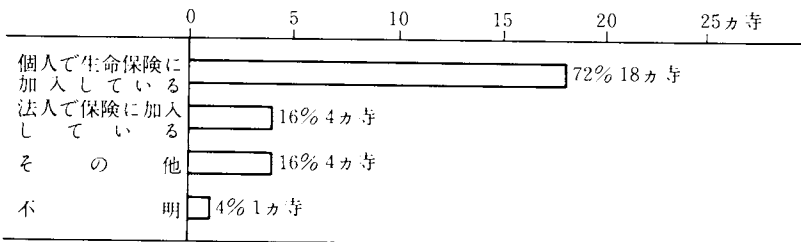
⑤ 後継者の不安を持っているか

回答25

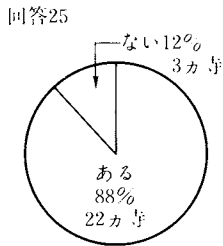


⑥ 住職の死亡又は事故の保障方法について

回答25(重複回答)

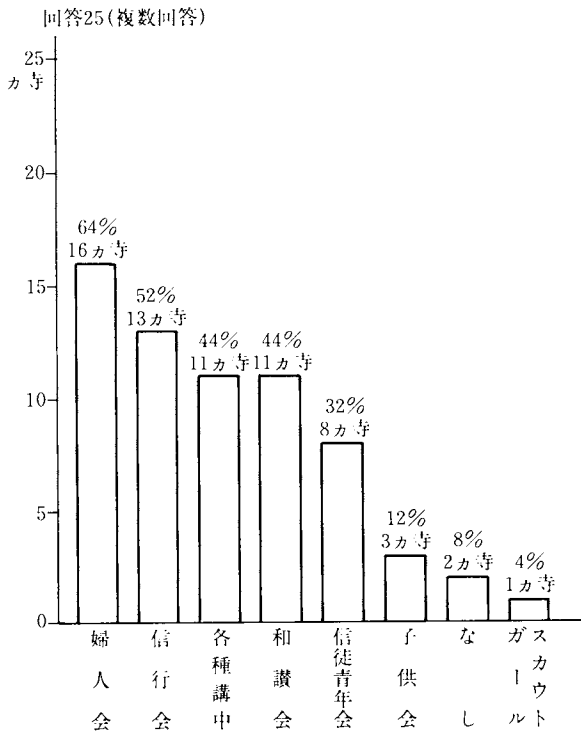


⑦ 護持会があるか



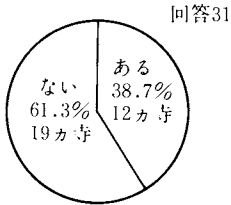
—教師の教化意識について—

⑧ 各寺院にはどんな教化活動の組織があるか



⑨ 信徒青年会について

イ. 信徒青年会があるか



2. 会員数 回答12

会員数	寺院数
8人	1カ寺
10人	2カ寺
16人	1カ寺
22人	1カ寺
25人	1カ寺
29人	1カ寺
30人	2カ寺
32人	2カ寺
36人	1カ寺

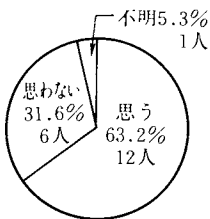
(2) 寺院奉仕 回答12

回数	寺院数
年0回	5カ寺
年1回	1カ寺
年3回	3カ寺
年4回	2カ寺
年12回	1カ寺

ハ. 特別な信徒青年活動として
〔家族野遊会・本山参り 1カ寺〕

⑩ 信徒青年会を作りたいと思うか ⑪ 「管内信徒青年交流会」の開催について

回答19



ロ. イで信徒青年会があると答えた寺院に

1. 結成年次 回答12

結成年次	寺院数
昭和38年	1カ寺
昭和50年	2カ寺
昭和51年	2カ寺
昭和53年	1カ寺
昭和55年	1カ寺
昭和56年	1カ寺
昭和57年	1カ寺
昭和59年	1カ寺
昭和62年	2カ寺

3. 活動内容

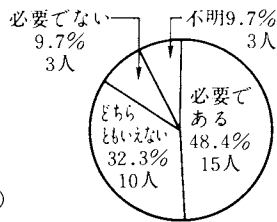
(1) 勉強会 回答12

回数	寺院数
年0回	6カ寺
年1回	1カ寺
年3回	2カ寺
年4回	2カ寺
年12回	1カ寺

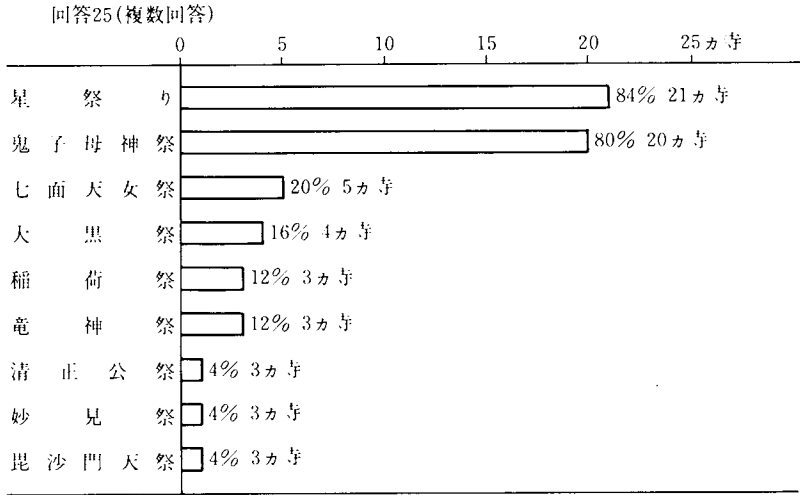
(3) 親睦会 回答12

回数	寺院数
年1回	4カ寺
年2回	5カ寺
年4回	1カ寺
年5回	2カ寺

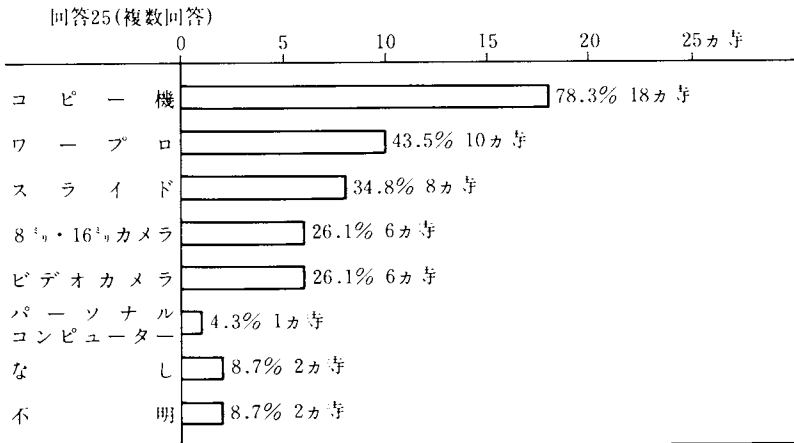
回答31



⑫ どのような守護神祭を行っているか

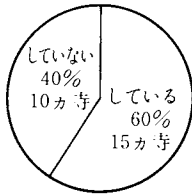


⑬ 布教機材について

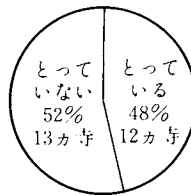


⑭ 日蓮宗新聞を教化に活用しているか ⑮ 檀信徒ように正法をとっているか

回答25



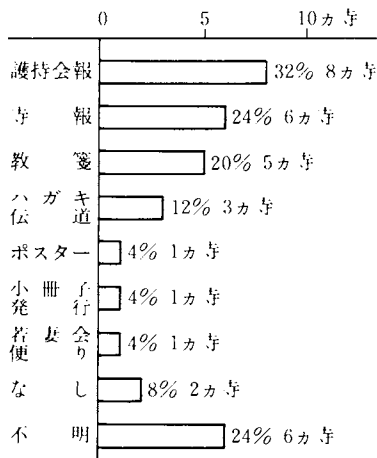
回答25



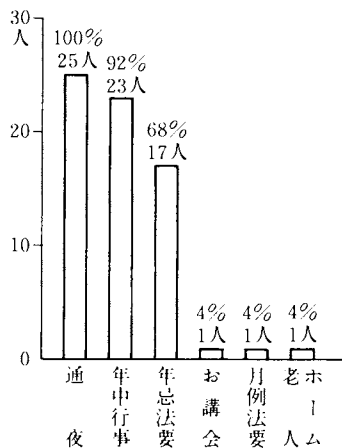
部数	寺院数
50部	1カ寺
40部	1カ寺
30部	2カ寺
20部	2カ寺
15部	1カ寺
10部	2カ寺
5部	1カ寺
4部	1カ寺
2部	1カ寺

⑯ 寺院手作りの教化資料について ⑰ 住職がどんな時に法話をするか

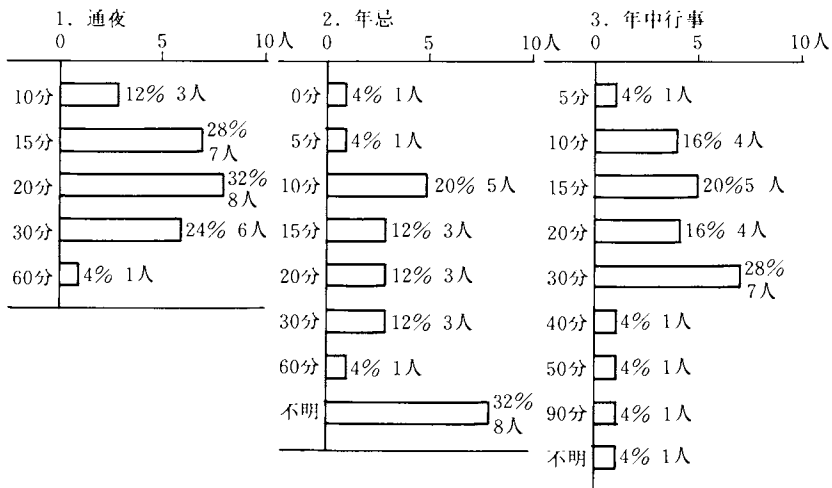
回答25(複数回答)



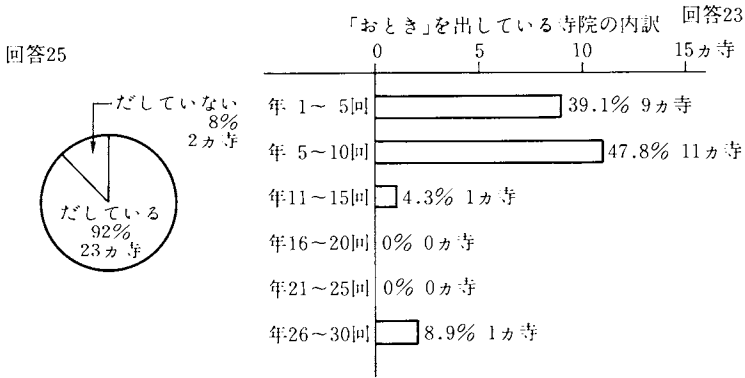
回答25(複数回答)



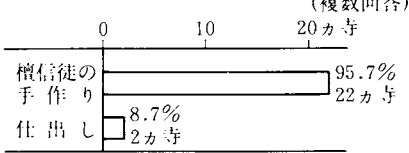
⑱ 法話の所要時間は 回答25



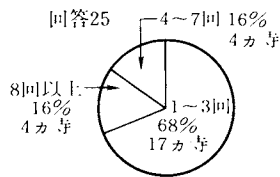
⑱ 年中行事で「おとし」を出しているか



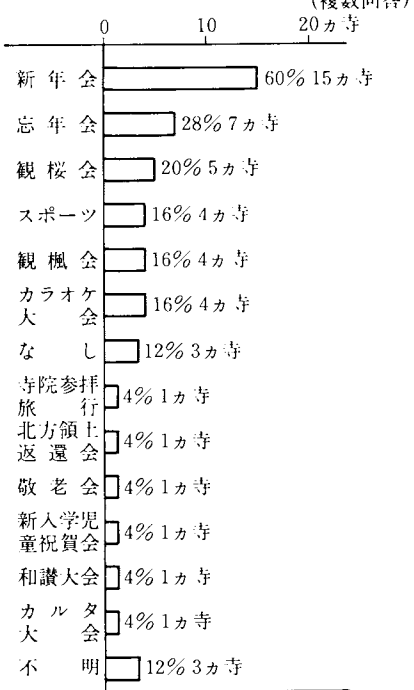
⑳ 「おとし」を出す方法



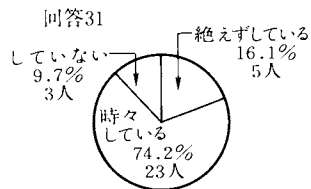
㉑ 団参を過去10年間に何回実施したか



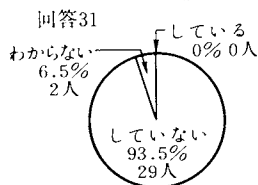
㉒ 檀信徒の親睦について



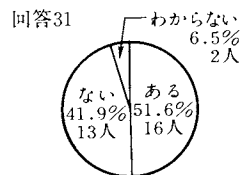
㉓ 教化に対して研究学習をしているか



㉔ 現在の自分の教化で満足しているか

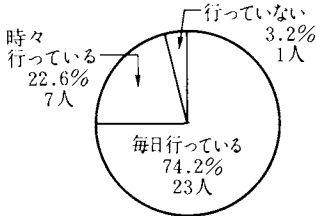


㉕ 僧職以外の職業に就きたい思いがあったか



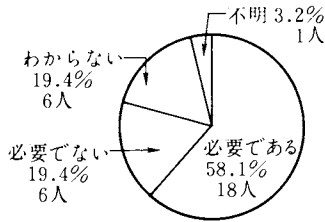
②⑥ 毎日勤行を行っているか

回答31



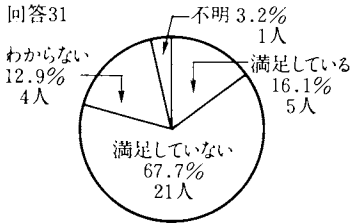
②⑦ 管内護法大会が必要か

回答31



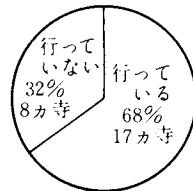
②⑧ 現在の統一信行と特派布教に満足か

回答31



②⑨ 和讃を行っているか

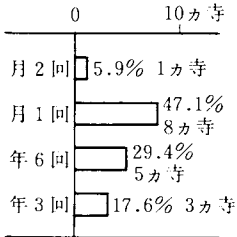
回答25



③⑩ 和讃を行っている寺の状況

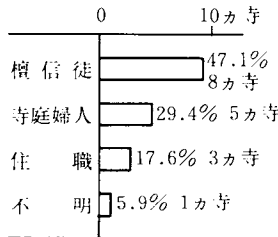
イ. 練習の回数

回答17



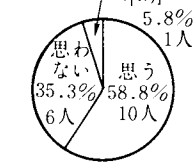
ロ. 教えている人は

回答17



ハ. 共通和讃が必要と思うか

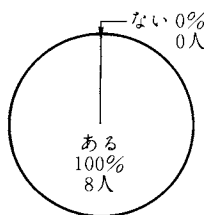
回答17



③⑪ 和讃を行っていない寺の状況

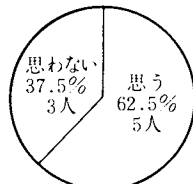
イ. 和讃を聞いたことがあるか

回答8



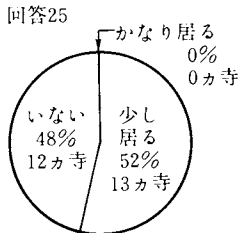
ロ. 今後和讃を実施したいと思うか

回答8

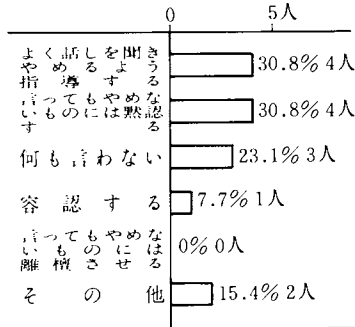


—新興宗教について—

③② 檀信徒が新興宗教に入信しているか

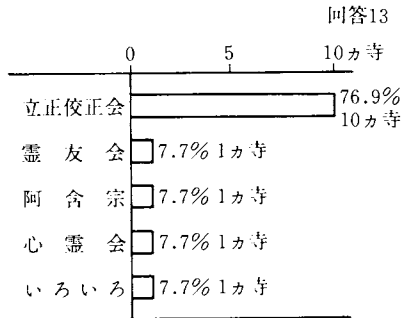


ロ. 入信している檀信徒の対応
回答13(複数回答)

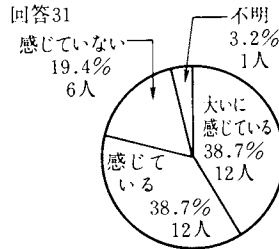


③③ 檀信徒の新興宗教入信状況

イ. どんな教団に入信しているか



③④ 将来の寺院活動に不安を感じているか



—教師の地域社会活動について—

③⑤ 公共の役職

回答31(重複回答)

教 師	4人	12.9%
民生児童委員	3人	9.7%
選挙管理委員	2人	6.5%
保 護 司	2人	6.5%
教 育 委 員	1人	3.2%
衛 生 委 員	1人	3.2%
人権擁護委員	0人	
行政相談委員	0人	
社会教育委員	0人	
市町村会委員	0人	
合 計	13人	
不 明	18人	58.1%

③⑥ ③⑤以外で社会活動にたずさわっているもの

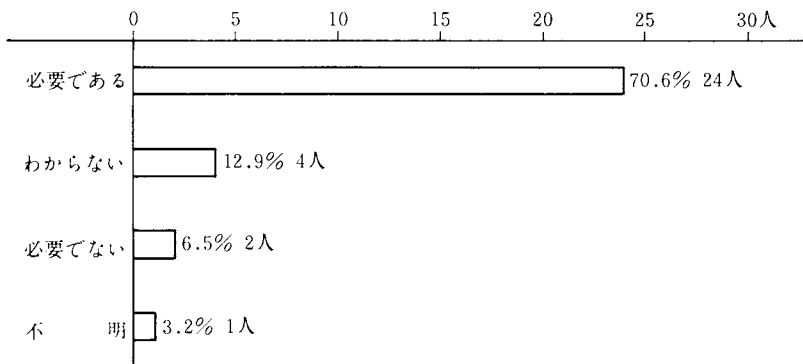
補導委員 3人	観光協会 1人	交通指導員 1人
P T A 1人	消防団員 1人	社会福祉理事 1人
体育指導員 1人	町会活動 1人	町内会長 1人
赤い羽根募金委員長 1人	町文化協会理事 1人	
ライオンズクラブ 2人	家事民事調停委員 1人	
幼稚園理事長 1人	裁判司法委員 1人	
子供会 1人	ナンシ 1人	
種々と社会活動をしているので()内に書ききれません 1人		

参考意見

住職は寺務多忙の為③⑤③⑥は坊守が委嘱されています。

⑬ 今回のアンケート調査が必要だと思うか

回答31



アンケート調査に教化センターに対する投稿が有りましたので記載させて戴きました

☞ この企画に大きな賛意を表します。只多数決の世の中とは云え少数意見も無視出来ぬ面も有り実際にこのアンケートを役立てる場合、難しい問題も多いと思いい適切妥当な方向づけを期待致します。

本音と立て前と云うこともあり経費の面では大変でしょうが数多く具体的に各寺の声を聞く方法を進めて下さい。

お寺どうし、住職どうしの協調・和合統一化は思った以上難問題であること御承知の上進んで下さい。

☞ 教化センターは21世紀に向かってとは言わず足下に道東宗門布教教化の中樞指針と思えます。土台作りに大変と思いますが、大いに切磋琢磨の輪を以て頑張って下さる様切望致します。

☞ 僧侶一人一人が宗門意識を持ち宗門人としての原点に立ち、今一度自己を反省して、宗門の発展と興隆に尽力すべきであります。(宗門人としての原点=不惜身命)

☞ このアンケートがどう生かされるかが問題である。